



2006年10月26日

各位

会社名 日本ビクター株式会社
代表者名 取締役社長 寺田 雅彦
(コード番号 6792 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 武田 雅亮
(TEL 045-450-2837)

当社の親会社 松下電器産業株式会社
代表者名 取締役社長 大坪 文雄
(コード番号 6752)

2007年3月期中間連結業績予想の修正ならびに 個別中間業績の差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2006年4月27日に公表致しました2007年3月期(2006年4月1日～2007年3月31日)の中間連結業績予想の修正ならびに個別中間業績の前中間期実績との差異を下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2007年3月期中間連結業績予想数値の修正(2006年4月1日～2006年9月30日)
(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	390,000	△5,000	△7,000
今回修正予想(B)	371,241	△3,436	5,025
増減額(B-A)	△18,759	1,564	12,025
増減率(%)	△4.8%	-	-
前期(2006年3月期中間)実績	387,264	△8,467	△15,310

2. 2007年3月期個別中間業績(2006年4月1日～2006年9月30日)の前中間期実績との差異
(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前期(2006年3月期中間)実績(A)	214,660	△3,227	△9,633
中間決算業績(B)	182,517	△2,539	10,796
増減額(B-A)	△32,143	688	20,429
増減率(%)	△15.0%	-	-

※当社は2007年3月期中間個別業績予想を開示していないため、前中間期実績との増減率により適時開示しております。

3. 修正及び差異の理由
(中間連結業績予想数値の修正)

民生分野の収益体質が改善したこと、及び財務体質健全化の一環として進めている遊休資産の売却益等により、2007年3月期中間連結業績につきまして、前回予想を修正致します。

(個別中間業績の前中間期実績との差異)

売上高は、民生分野を中心に前中間期実績に対して減少しております。また、損益面につきましては、上記と同様の理由で前中間期から改善しております。尚、前年個別中間実績には構造改革による特別損失が含まれております。

以上